

平成30年度 第1回 意見交換会

実施日	平成30年05月12日（土）
時間	18：00～20：35
場所	サンレイクかすや 多目的ホール
参加者数	34名
出席議員	15名（欠席： 八尋議員）
サポート要員	2名（議会事務局職員）
テーマ名	<p>（1） 就学前の保育に関して</p> <ul style="list-style-type: none">➡ 障がい児保育について➡ 町立幼稚園の3年保育について <p>（2） 小学校の子育てに関して</p> <ul style="list-style-type: none">➡ 特別支援学級について➡ 学童保育について <p>（3） 高齢化社会に向けた生き方に関して</p> <ul style="list-style-type: none">➡ 検診について➡ 在宅医療と終末期医療について <p>（4） 市制に向けた環境整備に関して</p> <p>（5） 町内巡回バスに関して</p> <p>（6） 都市計画マスタープランに関して</p> <ul style="list-style-type: none">➡ 西部地区の交通対策について➡ 通学路や生活道路の整備について <p>（7） 都市計画マスタープランに関して</p> <ul style="list-style-type: none">➡ まちづくりについて➡ 九大農場跡地利用について

(8) 駕与丁公園の在り方に関して
内容
<p>テーマを8つ設けました。</p> <p>各テーマ毎に議員を1~2名配置し(司会進行役と書記役)、参加町民には、ご自身の興味のあるテーマの席に移動していただきました。</p> <p>テーマ毎に参加者の考えをポストイットや模造紙に書いてもらいました</p>
報告
<p>皆さんから上がった質問・意見に関しては、担当の委員会で、それらの質問と意見の現状の粕屋町の施策の確認をしました。</p> <p>また、議会は、それらに関し討議をしました</p>

テーマ番号 (1)		就学前の保育に関して		
		<p>➡ ① 障がい児保育について</p> <p>➡ ② 町立幼稚園の3年保育について</p>		
所管の委員会		厚生常任委員会		
区分	NO.	町民からの 質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【30年6月30日 現在】	最終報告・進捗状況 【31年2月28日 現在】
①	1	障がい児保育の現状の把握に、もっと力を入れてほしい	町立・私立に関わらず、認可保育園とは月1回園長会を実施しており、情報交換は密にしています	園長会で出た内容だけでなく、保護者の悩みやニーズにも目を向けて把握に務め、施策を進めてほしいということではないかと受け止めています。 議会もそういう視点で審議を重ねていきます
	2	町立で行っている障がい児保育を私立の園でも広め、連携できる仕組みを作り、すべての認	私立の認可保育園では、支援の必要な園児の受け入れは行っていますが、町立に比べ、私立は要支援児受け入れのための加配の保育士が集まりづらく、十分な受け入れができ	今年度は加配の支援員を集めるために、加算額を倍にしています。 また、議会の要望により園児募集の期間を改め、私立の各保育園は早

	可保育所で障がい児を受け入れてほしい	ていない状況です	めに対応できるようになりました。 現在はすべての認可保育園で障がい児の受け入れが可能となっています
3	療育のスペシャリストに、週1回でも園に入ってもらいたい	療育の専門家が保育園に定期的に入る制度はありませんが、保育園の巡回相談支援事業(園より依頼があった場合)や療育通室中の園児【*】に関する園訪問を行っています 【*】 役場の健康センター2階の通室教室に通っている園児を指す	スペシャリストに入ってもらいたいという保護者の気持を議会としては尊重したい。 可能な方法を検討します
4	介護福祉課・子ども未来課・健康づくり課の連携を強化してほしい。 もしくは、障がい者単独の障がい福祉課の設置をしてほしい	要支援児に関する業務は、3つの課で連携をとっています。 新たな課の設置に関しては、全庁的な議論が必要であり、現時点では計画していません	3つの課の連携が強化できるように努めます
5	障がい児を持つ親に対し、妊娠期の支援制度を作ってもらいたい	現在の制度では、未就学児から高校生に対する「障がい児通所支援」や入浴・食事補助等の「居宅介護」があります。 また、出産等で介護できない場合には、宿泊が可能である「短期入所」や日帰りの「日中一時支援」があります	このことだけに限らずいろいろなサービスがあることをご存じない方が多いようなので、議会としても周知に力を入れるように求めています
6	医療ケアを受けながら通園できるような仕組みを作ってもらいたい	看護師等の配置や派遣等により医療ケアを実施している保育所はありません。 町は計画していません	私立の保育園では看護師が常駐しているところもあるので、相談できる仕組みを検討できたらと考えています

②	1	<p>待機児童の問題は、3年保育がないのが大きな理由。</p> <p>3年保育は、発達の間からも必要。</p> <p>子どもを預けて少し働きたいということが、必然的に保育所を選択せざるを得ない状況に陥っている。</p> <p>対策を立ててほしい</p>	<p>3年保育の検討は行っています。</p> <p>一つは、教室の増築を行う方法ですが、増築により園庭の縮小が考えられます。</p> <p>一つは、各学年2クラスを1クラスに減らす方法ですが、現状は1クラスにするほど入園園児は減少していません。</p> <p>今の所、実施は困難な状況です</p>	<p>3年保育を実施するには設備の拡充と新たな職員が必要であり、町はまだ対応できていません。</p> <p>議会としては、3年保育の実施に向けて、幼保連携の認定こども園への移行も含めて要望していきます。</p> <p>しかしながら今年の10月には幼児教育の無償化が実施される予定なので、状況を見ながら早急な対応がとれるよう求めていきます</p>
---	---	--	--	--

テーマ番号（2）		<p style="text-align: center;">小学校の子育てに関して</p> <p>➡ ① 特別支援学級について</p> <p>➡ ② 学童保育について</p>		
所管の委員会		<p style="text-align: center;">総務常任委員会</p>		
区分	NO.	町民からの質問・意見	粕屋町の現状の施策の確認 【30年6月30日 現在】	最終報告・進捗状況 【31年2月28日 現在】
①	1	<p>教職員の専門性を高めてほしい</p>	<p>特別支援教育担当者会、教育支援事業説明会等により、教職員の専門性を高めるよう努めています。</p> <p>また、県福岡教育事務所における特別支援教育訪問を毎年1校行い、特別支援学級増加への対応ができるようにしています。</p> <p>県に対しては、特別支援にかかる専門性をもった教職員の配置を要望しています</p>	<p>教育委員会に要望します</p>

	2	<p>支援判断の基準を明確にし、透明性を確保してほしい</p>	<p>学校教育の中で特別な配慮が必要と思われる児童生徒について、教育支援委員会にて通常の学級・通級による指導教室・特別支援学級・特別支援学校への子どもにとって適正な就学先判定を行っています。</p> <p>判断においては、心理検査結果や普段の園や学校生活の状況、事前の行動観察の様子などの客観的な資料をもとに、子どもたちの将来を見通した結果をとなるように教育支援委員会にて総合的に判断しています</p>	<p>教育委員会に要望します</p>
	3	<p>支援を要する保護者の意見を聞いてほしい</p>	<p>教育支援委員会に判断を依頼するか否かは、園や学校での保護者との教育相談において十分に話し合いを行い、共通理解を得た上で進めています。</p> <p>また、支援委員会の判定結果については教育委員会が通知を行い、保護者から要請があれば個別に指導主事、スクールカウンセラー等と結果の詳細説明を行い共通の理解を図っています</p>	<p>教育委員会に要望します</p>
	4	<p>特別支援に関し、町が数年後を見据えた方針を明確にしてほしい</p>	<p>特別支援を要する児童生徒数は、年々増加しており、その児童生徒に対して、特別支援教育にかかる学校支援員等の配置の充実を図ると共に、その人材・予算確保に努めています</p>	<p>教育委員会に要望します</p>
	5	<p>ダウン症等の個別の訓練</p>	<p>予算の範囲内で、特別支援学級のどの児童生徒も楽しく</p>	<p>楽しく学習できるように工夫すると共に、予算</p>

		できる施設を充実してほしい	学習できるような教具や教材を購入するよう各学校で工夫を行っています。 専門性の高い個別の教材等は高額なため、十分に充実できていないのが現状です	の範囲内で教材等を購入するように教育委員会に要望します
②	1	民間の学童保育を誘致し、待機学童を解消してほしい	平成 30 年度当初予算に直営の学童保育所施設の増設予算を要望しましたが、予算化は見送られました。 民間学童施設としては、町から委託料を払って運営してもらう場合と民間独自で開設する場合がありますが、現在の所、いずれの相談もありません。 町は、粕屋西小学校の学童の増設を優先順位で検討しています	今後も、待機児童解消を図っていけるよう町に施設の充実を求めてまいります。また、誘致等も含め、様々な角度から調査・研究を続けてまいります

テーマ番号 (3)		高齢化社会に向けた生き方に関して ➡ ① 健診について ➡ ② 在宅医療と終末期医療について		
所管の委員会		厚生常任委員会		
区分	NO.	町民からの質問・意見	粕屋町の現状の施策の確認 【30年6月30日 現在】	最終報告・進捗状況 【31年2月28日 現在】
①	1	健診項目を増やしてほしい (ピロリ菌検査含む)	特定検診は、国の指針に準じて実施しています。 胃がんリスク検診(ピロリ菌の検査)の実施に関しては、課題が多く実施していません。 町は国の基準以外に、町独自の施策として、30代基本健診・前立がん検診・歯科検診	ピロリ菌検査に関しては、費用及び人的補強などが必要で、現在は実施が厳しい状況です。 引き続き、議会からも要望していきます

			を行っています	
	2	健診結果に問題があるなしに関わらず、指導の充実を図ってほしい	保健指導は、国の特定保健指導対象者や町の基準に基づき実施しており、毎月1回実施している健康相談や生活習慣病予防教室など、どなたでもご利用や参加は可能です	月一回の健康相談日以外にもどなたでも利用出来る保健指導の実施可能な機会として、健康かすや21や健康教室も行っています。 広報誌や、ホームページ、チラシにて周知・徹底するようにします
	3	健康センターである健診では、役場駐車場が使えるようにしてほしい (駐車スペースがなく、健診を受けられない人がいる)	健康センターでの集団健診や乳幼児健診等の際は、健診用に駐車場の確保をしておりますが、町としては慢性的に駐車場の不足を認識しています	検診時は職員の車を移動したり、駐車出来るスペースへ誘導しています。 駐車場に関しては毎月関係機関で打ち合わせを行い、健康センター事業については健康センター前にコーンを置き、場所の確保を行っています。 駐車場について、事前の案内を行っていませんでしたので、健康づくり課に要望しております
②	1	在宅医療の在り方に関しては、町から啓発を行ってほしい (町民と話し合う場の設定、等)	65歳に達する方へパンフレットを郵送しています。 また、公民館で実施する「ゆうゆうサロン」で色々なテーマで講座を開いています。 平成28年度は、訪問診療や看取りについてのアンケートを実施しました	在宅医療に関しては介護との連携体制の構築が課題と確認しています。 今後も注視していきます。 また、新たに住民講座・出前講座を実施していく予定です

テーマ番号（４）		市制に向けた環境整備に関して	
所管の委員会		総務常任委員会	
NO.	町民からの 質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【30年6月30日 現在】	最終報告・進捗状況 【31年2月28日 現在】
1	<p>町長の選挙公約である（仮称）「東福岡市」が実現すると、スケールメリットにより、業務の集約化ひいては効率化が図られるのは必然である。</p> <p>そのメリットを活かすためには現時点から、市移行により新組織となるであろう「危機管理（災害対応）」「情報発信（広報）」「公共用地の取得（用地買収）」等の専門分野をもった行政マンの養成が必要と考える</p>	<p>町長の選挙公約では、10万人都市をうたっています。</p> <p>近隣との合併を目指すのか、単独市制を目指すのか、まだ、町より方針は出されていません。</p> <p>質問者が述べられるように、町長自身も市制移行に伴う職員のレベルアップについては常々考えられています</p>	<p>昨年9月に新町長が就任されました。</p> <p>新町長は、市政への手段として、合併によるものか、単独によるものか、色々な可能性を検討されています。</p> <p>新町長として、初めて組まれる平成31年度当初予算に姿勢に関連する予算付けがあるか、注視していきます</p>

テーマ番号（５）		町内巡回バスに関して	
所管の委員会		建設常任委員会	
NO.	町民からの 質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【30年6月30日 現在】	最終報告・進捗状況 【31年2月28日 現在】
1	土・日・祝日の運行を考えてほしい	<p>現行のふれあいバスでいくのか、コミュニティバスで</p>	平成31年4月1日から、ふれあいバスの土日

2	病院やスーパー等、ルートの見直しを考えたほしい	くのか、検討しています。 コミュニティバスに移行した場合にどの位の費用が必要か、調査しています	祝日運行（但し、12月29日～1月3日は運行しない）を予定しています
3	集落への乗り入れも検討してほしい		
4	有料化も検討し、バスの本数を増設してほしい		
5	運行時間を17時までにしてほしい		

テーマ番号（6）		都市計画マスタープランに関して ➡ 西部地区の交通対策について ➡ 通学路や生活道路の整備について	
所管の委員会		建設常任委員会	
NO.	町民からの質問・意見	粕屋町の現状の施策の確認 【30年6月30日 現在】	最終報告・進捗状況 【30年2月28日 現在】
1	信号の時間調整をしてほしい	区長経由で町へ要望書を上げてもらい、町の方で現状を確認し、必要であれば、警察へ要請します	具体例を上げると、阿恵橋信号は24時間で7つのパターンに分けて信号機の時間が変化します。 時間帯によっては最大で25秒程度の違いがあります。 信号機の管理は警察であり、交通量や渋滞の状況、他の信号との連動もあり、一部の信号機のみの変更は困難です
2	JR踏切時間の調整をしてほしい (踏切が下りているのに横断者がいる)	計画はありません	現状と変わらず

3	阿恵橋付近の歩道の拡幅をしてほしい	町内の通学路には歩道がない所があり、緊急性のある所から順次計画をしています	電柱の移動は地元から要望が出されて、地主との協議になりますが、まだ、その手続きが未定です
4	歩道を通る自転車への規制をしてほしい ➡ JR 長者原駅から魁誠高校の区間 ➡ JR 長者原駅から駕与丁公園の区間	基本的には歩道の走行はできません。 規制は警察の権限です。 補足として、歩道の走行が出来るのは、13 歳未満・70 歳以上の方に限られます	これらの区間は指定外の歩道であり、幼児・児童・高齢者以外の者は、自転車の通行ができません
5	長者原交差点の渋滞緩和をお願いしたい	町の計画はありませんが、県事業である東環状線や筑紫野古賀線の開通により、少しでも渋滞緩和が可能と考えます	現状と変わらず
6	道路の拡張をお願いしたい (JR 原町駅から JR 伊賀駅を走る県道)	県道であり、要望があれば、その都度、町から県に要請します	平成 29 年度に長者原中区周辺が拡幅されています
7	九大跡地の上を走る道路(環状線)の詳細を発信してほしい	庁内に県が作成したパンフレットを用意しています。 閲覧は可能です	現状と変わらず
8	西小学校のプールを移設する理由を発信してほしい	議会には説明をしていますが、配布用のパンフレットは作成していません	現在、移設工事が進行しています。 予定では、今年の夏から使用可能です
9	JR 線の立体化をしてほしい	計画はありません	計画はありません

テーマ番号（7）		都市計画マスタープランに関して ➡ ① まちづくりについて ➡ ② 九大農場跡地利用について		
所管の委員会		① 建設常任委員会 ②交通対策及び九州大学農場跡地 対策特別委員会		
区分	NO.	町民からの 質問・意見	粕屋町の 現状の施策の確認 【30年6月30日 現在】	最終報告・進捗状況 【31年2月28日 現在】
①	1	用途地域の変更は、町民の声を聴いてほしい	既存の用途地域の変更は困難ですが、新たに作る用途地域は関係する住民の声を聴いています	平成 32 年度に策定予定のマスタープランに合わせ、住民の声を聞いていきます
	2	農業の後継者不足に取り組んでほしい	担い手不足解消として、農業従事者への支援を検討しています	今年度は、各地域の機械協同組合への支援拡充を行います
	3	調整区域に住居が建てられるようにしてほしい	基本的には困難です	現状と変わらず
	4	未知の分野に挑戦する町民を町が支援してほしい	まちづくりに関する団体には補助制度がありますが、個人に対する補助は考えていません	5 人以上の団体に対する補助制度はありますが、個人に関しては、今後検討します
	5	JR 駅周辺の開発をしてほしい	町としては JR 駅周辺の開発の計画はありません。 現在、JR 酒殿駅周辺の地権者が区画整理を進めており、これは町のマスタープランに沿ったものであり、町も関与しています	現在、酒殿駅周辺の土地区画整理事業に対し、協力しています
	6	開発のない良さを認識してほしい	平成 32 年度策定予定のマスタープランでは、地域住民や都市計画審議会の声を聴いていきます	現状と変わらず

	7	町民と町の対話の機会を設けてほしい	今後の検討課題の一つです	現状と変わらず
②	1	小中一貫校や特別支援学校の誘致をしてほしい	<p>小中一貫校の誘致については、計画していません。</p> <p>一方で、特別支援学校の誘致については、議会で誘致の決議をしています。</p> <p>現在、JR 酒殿駅周辺の地権者が区画整理を進めており、これは町のマスタープランに沿ったものであり、町も関与しています</p>	<p>現在、JR 酒殿駅周辺の地権者が区画整理を進めており、これは町のマスタープランに沿ったものであり、町も関与しています</p>

テーマ番号 (8)		駕与丁公園の在り方に関して		
所管の委員会		建設常任委員会		
NO.	町民からの質問・意見	粕屋町の現状の施策の確認 【30年6月30日 現在】	最終報告・進捗状況 【31年2月28日 現在】	
1	民間事業者の活用により、公園のにぎわいを創出してほしい (貸しポート、レストラン、釣り堀、レンタル自転車、等)	検討課題の一つです	民間活力による新たな公園の活性化について検討します	
2	落橋した水鳥橋を再建してほしい (簡易構造で民間事業者からの提案募集を募る)	平成30年度当初予算では、設計費の金額が高すぎるという議会の判断もあり、現在は、安価なものが可能かどうか、検討しています	民間事業者が設計と施工を一括して行う方法も含め、どのような方法が復旧に際しているのか、予算も考えながら検討します	
3	バラ園を拡大してほしい	計画していません	駕与丁公園では、180種・2400株のバラを植栽し、消毒・施肥・剪定などの維持管理に努めています	

			<p>ます。</p> <p>バラ園の拡大には、多くの整備費用と整備後の整備後の維持管理費用が必要なため、現状では厳しい状況です</p>
4	<p>花火大会を復活してほしい</p> <p>(町民の手作り、冬の開催、等)</p>	<p>町が主体として実施はしませんが、主催団体から名乗りがあれば検討します</p>	<p>平成 31 年度に花火大会の実施に向けた検討協議会を開催します</p>
5	<p>駐車場を整備してほしい</p> <p>(土地開発公社所有のふれあい広場用地、町有地、等)</p>	<p>町は駐車場が不足していることを認識していますが、場所の問題がネックになっています。</p> <p>また、ご指摘の土地の利用に関しては、道路を横断する時など、安全面で問題があると考えられます</p>	<p>現状と変わらず</p>